

質向上につながると考えています。

次に、川の中のごみについてですが、これらのごみは直接河川に捨てられたものばかりではなく、道路や排水路などに捨てられたもので、雨水などと一緒に流れ込んでいきます。

市では、毎年5月と11月に市内一斉清掃をお願いし、ポイ捨てされたごみの清掃活動をしています。清掃活動は、一時的な対応にしか過ぎず、清潔で快適な生活環境を作るためには、一人ひとりが社会のルールを守り、協力していかなければなりません。

私は、水と緑の環境を大切に考えています。川の清らかさは、市民や市の環境への取り組みを反映しているとも言えると思います。私は、私をはじめとする市民の皆さんで社会のルールを守り、尾内議員同様、真剣に自然環境について、考えていただきたいと思っています。

川を汚すのはあつという間、元に戻すのは10年でも難しいと言われています。メダカやザリガニなどが生息できる水質を確保し、人々が自然と触れ合える水辺環境を大切にすること、後世に誇れるよう川を守っていくことを、将来を担う皆さんにもお願いしたいと思っています。

道路の整備について



おおき かなう 佳南 議員
大木 佳南 (伊奈東中 3年)

【質問】

私は、学校の行事などで、しばしば通る県道がありますが、そこは、よく大型車の通る道で、心配なときがあります。

1つ目は、伊奈中学校近くの豊体の交差点です。ここを通るとき、大型車を見かけない日はありません。しかし、道幅が狭く、すばやく曲がることができず、すばやく曲がることのできない大型車は、混雑の原因であり、事故の原因となる可能性もあります。道を広げることは、まわりにお店や家があり、難しいと思います。そこで、守谷市から来る大型車の利用を考え、新しい道をつくれれば、大型車の道路利用が減り、安全性も効率面も、よくなると思います。

2つ目は、国道294号から玉台橋までの道路です。そこは、信号が変わっても自動車が進まず、大変混雑しているときがあります。信号の設備を変えたり、周りの広い道路などを利用して

改善することはできないのでしょうか。

よく使われる道路をはっきりさせ、整えることは快適で住み良いまちづくりの一環であり、それがつくばみらい市の発展のもとでもあると思います。これらの県道の整備について、少ない予算で改善することはできないでしょうか。

【市長答弁】

豊体の県道交差点は、小張小学校方面から守谷市方面へ向かう県道46号線野田牛久線と、伊奈中学校方面から常総市方面へ向かう県道130号線常総線取手線とのT字路が連結する変則交差点です。この交差点は、道路幅が狭く、右折左折する大型車も頻繁に通行することから、市の渋滞ポイントの一つです。

そのため、県道を管理する茨城県に、交差点の改善の要望をしてみました。なかなか実現しませんでした。そこで、旧伊奈町と旧谷和原村の合併事業として、茨城県に代わり、市が(仮称)豊体横町下宿線として、伊奈中学校側のT字路交差点を十字路とする新しい道路を整備することとしました。

この新しい道路の整備は、平

成25年度末の完成を目標に、伊奈中学校方面から来る道路と、谷和原中学校方面からくる道路を直線で結ぶ、新しい道路約800mを整備するものです。この新しい道路が完成した際には、2箇所連続するT字路の変則交差点が、十字路交差点となり、豊体交差点の安全性や効率性の向上や、大型車などの混雑緩和が図られるものと期待をしています。

次に、県道3号線つくば野田線については、つくば市から当市内を経て、野田市に接続する重要な幹線道路であり、毎年、事業主体である茨城県に渋滞箇所や危険箇所改善を含め、早期の道路工事の要望をしています。国道294号から玉台橋までの区間については、近距離に3箇所の交差点が点在し、安全対策のための信号機が設置してあります。このような信号機付きの交差点の場合、信号待ちによる、多少の渋滞は、安全管理面から考えると、やむを得ない状況であると考えています。

しかし、大木議員のおっしゃる箇所については、道路管理者の茨城県において、特に朝夕の渋滞緩和に向けた対策が、既に着手されています。対策内容を申しますと、国道294号の谷和原インターチェンジ方面から

